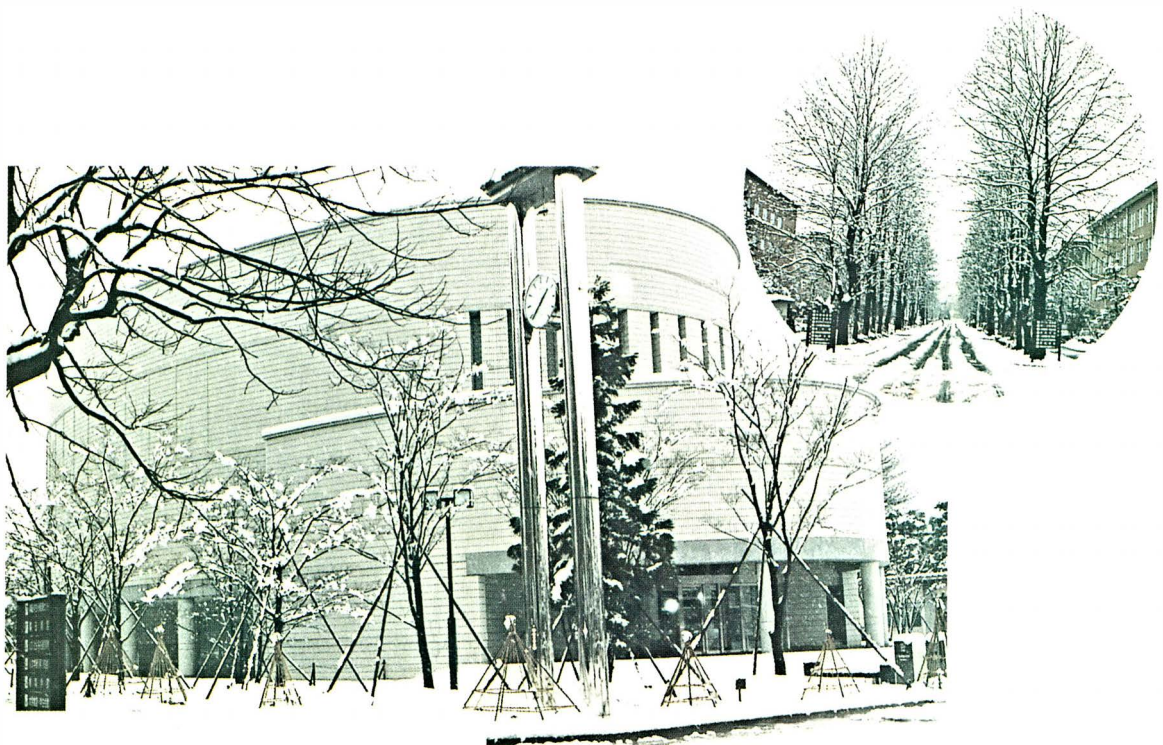




(題字 小黒千足 学長)

第360号

(平成6年12月号)



冬の景色

(黒田講堂, メインストリート, 立山連峰)

目 次

関係法令	3	学内諸報	8
学内規則	3	◆ 学長主催による外国人留学生等と教職員との 懇談会を開催	8
諸会議	3	◆ 平成6年度『第8回経営者・研究者交流会』 を開催	8
学 事	4	◆ 海外渡航者	9
◆ 平成7年度富山大学推薦入学，帰国子女， 社会人特別選抜合格者等状況	4	◆ 学内レクリエーション	10
◆ 平成6年度民間等との共同研究受入れ 一覧	6	職 員 消 息	10
◆ 平成7年度日本学術振興会事業内定者 の決定	7	◆ 住 所 変 更	10
人 事 異 動	7	◆ 新 任 者 住 所	10
		◆ 改 姓	10
		計 報	11
		主 要 行 事	12

関 係 法 令

(省 令)

- 学校保健法施行規則の一部を改正する省令
(文部49) (平 6. 12. 8 官報第1541号)

- 人事院規則17-0 (管理職員等の範囲)の一部を改正する人事員規則 (人事院17-0-36)
(平 6. 12. 26 官報第1552号)

(規 則)

- 人事院規則 9-30 (特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-30-27)
(平 6. 12. 16 官報第1547号)
- 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則 (人事院 9-17-50)
(平 6. 12. 19 官報第1548号)

(告 示)

- 支出官事務規程第21条に規程する外国貨幣換算率を定める等の件 (大蔵243)
(平 6. 12. 16 官報第1547号)
- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件 (同224)
(平 6. 12. 16 官報第1547号)

学 内 規 則

富山大学における教養科目及び共通基礎科目に係る追試験に関する内規の一部改正

富山大学における教養科目及び共通基礎科目に係る追試験に関する内規の改正理由

追試験の許可基準の整備を図るため、所要事項を改める。

富山大学における教育科目及び共通基礎科目に係る追試験に関する内規の一部を改正する内規

第 1 条中「, その他不慮の事故」を「, その他不慮の事故等真にやむを得ない事由」に改める。

富山大学における教養科目及び共通基礎科目に係る追試験に関する内規 (平成 5 年 4 月 1 日制定) の一部を次のように改正する。

附 則

この内規は、平成 6 年 12 月 15 日から実施する。

諸 会 議

第 6 回事務協議会 (12 月 5 日)

(課 題)

当面の諸課題について

第 8 回部局長懇談会 (12 月 16 日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第 8 回評議会 (12 月 16 日)

第9回生涯学習教育研究センター準備委員会専門委員会
(12月19日)

(議 題)

- (1) 富山大学生涯学習教育研究センター(仮称)について
- (2) 講演会及び懇談会の開催について
- (3) その他

第5回入学試験実施委員会(12月20日)

(審議事項)

- (1) 専門委員会委員について
- (2) 平成7年度富山大学入学選抜学力検査場の実施要項等について

学

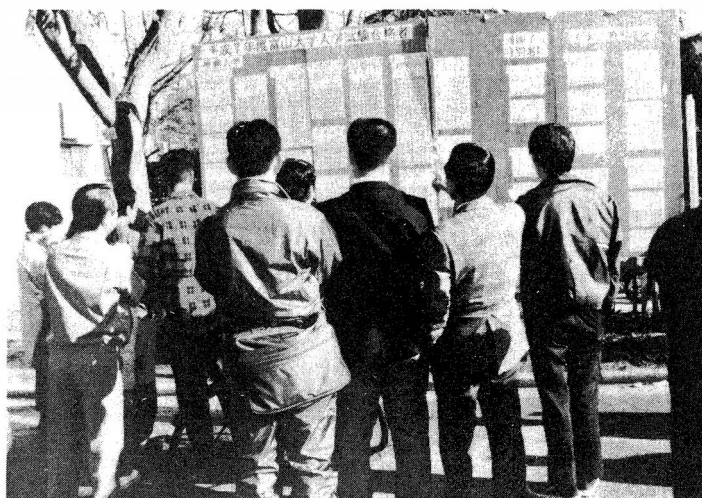
事

平成7年度富山大学推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜合格者等状況

区分	学部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	備 考
推薦入学	(注) 人文	人 文 学 科	6	37	—	—	—	
		国 際 文 化 学 科	4	16	—	—	—	
		言 語 文 化 学 科	8	38	—	—	—	
		計	18	91	—	—	—	
	教育	中 学 校 教 員 養 成 課 程						
		数 学 専 攻	2	6	6	0	2	
		理 科 専 攻	2	11	11	0	2	
		音 楽 専 攻	2	9	9	0	2	
		美 術 専 攻	2	6	6	0	2	
		保 健 体 育 専 攻	2	23	23	0	2	
		家 庭 専 攻	2	11	11	0	2	
		技 術 専 攻	2	10	10	0	2	
		情 報 教 育 課 程						
		教 育 情 報 コ ー ス	6	21	21	0	6	
		環 境 情 報 コ ー ス	4	5	5	0	4	
		計	24	102	102	0	24	
	経済	経 済 学 科	12	30	30	0	13	
		経 営 学 科	10	25	25	0	11	
		経 営 法 学 科	8	13	13	0	8	
		計	30	68	68	0	32	
	夜間主 コース	経 済 学 科	7	9	9	0	7	
		経 営 学 科	7	8	8	0	6	
		経 営 法 学 科	6	8	8	0	6	
		計	20	25	25	0	19	
	理	数 学 科	16	78	78	0	18	
		生 物 圏 環 境 科 学 科	5	27	27	0	5	
		計	21	105	105	0	23	
	工	電 子 情 報 工 学 科 普 通 ・ 理 数 科	13	25	25	0	13	
		専 門 (工 業)	6	22	21	1	7	
		機 械 シ ス テ ム 工 学 科 普 通 ・ 理 数 科	10	17	17	0	10	
		専 門 (工 業)	5	10	10	0	5	
		物 質 工 学 科 普 通 ・ 理 数 科	8	11	11	0	8	
		専 門 (工 業)	4	6	6	0	4	
		化 学 生 物 工 学 科 普 通 ・ 理 数 科	8	19	19	0	8	
		専 門 (工 業)	4	4	4	0	4	
		計	58	114	113	1	59	
	合 計		171	505	413	1	157	

区分	学部	学 科 ・ 課 程 等		募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	備 考
帰国子女特別選抜	人文	人 文 学 科		若干名	0	0	0	0	
		国 際 文 化 学 科		〃	2	1	1	1	
		言 語 文 化 学 科		〃	1	1	0	1	
		計		若干名	3	2	1	2	
	経済	昼間主 コース	経 済 学 科	若干名	0	0	0	0	
			経 営 学 科	〃	0	0	0	0	
			経 営 法 学 科	〃	0	0	0	0	
			計	若干名	0	0	0	0	
	理	数 学 科		若干名	1	1	0	1	
		物 理 学 科		〃	0	0	0	0	
		化 学 科		〃	1	1	0	1	
		生 物 学 科		〃	0	0	0	0	
		地 球 科 学 科		〃	0	0	0	0	
		生 物 圏 環 境 科 学 科		〃	0	0	0	0	
		計		若干名	2	2	0	2	
	合 計		若干名	5	4	1	4		
社会人特別選抜	人文	人 文 学 科		若干名	2	2	0	1	
		国 際 文 化 学 科		〃	3	3	0	3	
		言 語 文 化 学 科		〃	4	2	2	2	
		計		若干名	9	7	2	6	
	経済	夜間主 コース	経 済 学 科	7	11	11	0	7	
			経 営 学 科	6	9	8	1	7	
			経 営 法 学 科	7	10	10	0	7	
			計	20	30	29	1	21	
	理	物 理 学 科		若干名	1	1	0	1	
		化 学 科		〃	0	0	0	0	
		生 物 学 科		〃	5	4	1	4	
		地 球 科 学 科		〃	3	3	0	1	
		生 物 圏 環 境 科 学 科		〃	0	0	0	0	
		計		若干名	9	8	1	6	
	合 計		20	48	44	4	33		
	総 計		191	558	461	6	194		

(注) 人文学部の推薦入学は、平成7年1月18日(木)に入学試験。



▲ 推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜の合格者発表
(平成6年12月8日(木))

平成6年度 民間等との共同研究受入れ一覧

区分	研究 題 目	民 間 機 関 名	大学側研究代表者
A	熱プラズマと固体面間の熱伝達に関する研究	三菱重工業(株)広島研究所	工学部 教 授 岩 淵 牧 男
〃	超格子ヘテロ接合型圧力センサの開発	立山マシン(株)	工学部 教 授 龍 山 智 榮
B	アミラーゼの各種澱粉誘導体への作用機構の比較研究	ヤヨイ化学工業(株)	工学部 教 授 島 崎 長 一 郎
〃	環状シアナミド類の熱特性と防燃機構に関する研究	日産化学工業(株)富山工場	工学部 教 授 島 崎 長 一 郎
〃	低Mg押出合金の開発	新日軽(株)北陸製造所	機械研究センター 助教授 池 野 進
〃	多孔性セルロース微粒子の機能化と特性解析に関する研究	レンゴー(株)	工学部 教 授 北 野 博 巳
〃	極低温鍛鋼管の開発	太平洋製鋼(株)富山製造所	理学部 教 授 石 川 義 和
〃	切削加工における潤滑油成分の検討	日華化学(株)	工学部 教 授 能 登 谷 久 公
〃	ステンレス鋼の鋸刃切削の適性	(株)津根ワグナー・カーバイド	工学部 教 授 能 登 谷 久 公
〃	高分子被覆アルミ材料表面に対するエアロゾルの吸・脱着挙動の解析	三協アルミニウム工業(株)	工学部 教 授 北 野 博 巳
〃	Al Mg Si合金の熱処理におけるMg ₂ Siの挙動	吉田工業(株)黒部事業所	機械研究センター 助教授 池 野 進
〃	エージング条件の検討	立山アルミニウム工業(株)	機械研究センター 助教授 池 野 進
〃	高精細液晶表示素子の研究	ホシデン(株)	工学部 教 授 女 川 博 義
〃	液晶素子の研究	北陸電気工業(株)	工学部 教 授 女 川 博 義
〃	アルミニウムの電解着色に関する研究	三協アルミニウム工業(株)	工学部 助 手 蓮 覚 寺 聖 一
〃	断熱鋳型による連続鋳造法の研究	富山合金(株)	工学部 助教授 穴 田 博
〃	アルミニウム押出し用ダイスの耐摩耗性向上の研究	本多金属工業(株)	工学部 教 授 時 澤 貢
〃	自動化・省力化設備構造用キットの特性解析	エヌアイシ・オートテック(株)	工学部 教 授 小 泉 邦 雄
〃	半導体ヘテロ接合デバイスに関する研究	北陸電気工業(株)	工学部 教 授 龍 山 智 榮
〃	中空押出材の接合強度に関する研究	アイシン軽金属(株)	工学部 教 授 時 澤 貢
〃	微小柔軟性物体のフィード・ハンドリング装置の開発	(株)内日本システム	工学部 教 授 小 泉 邦 雄
〃	クラスレーション法による排煙ガスのクリーン化に関する研究	北陸電力(株)技術研究所	工学部 教 授 加 藤 勉
〃	ガラスエポキシ鋼張積層板の微小穴明けにおける工具摩耗の検討	富山日本電気(株)	工学部 教 授 能 登 谷 久 公
〃	配電盤内の電磁および温度環境に関する研究	(株)別川製作所	工学部 教 授 池 田 長 康
〃	降雨・降雪の電荷量測定と電撃予測に関する研究	北陸電力(株)技術研究所	工学部 教 授 池 田 長 康
C	ハイスピードピーニングに関する研究	(株)不二越	工学部 教 授 石 黒 隆 義
〃	高速度工具鋼の微細組織構造の解析	(株)不二越	機械研究センター 助教授 池 野 進
〃	アルミニウム精密押出しに関する工具形状の研究	住友軽金属工業(株)	工学部 教 授 時 澤 貢
〃	動物の学習・記憶行動に対する成長因子の作用	東洋産業(株)	工学部 教 授 佐 々 木 和 男
〃	液晶表示板の研究開発	三光合成(株)	工学部 教 授 女 川 博 義

*共同研究の区分

- A：民間機関等から研究者とともに直接経費を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費（校費）の配分を要する場合
- B：民間機関等から研究者とともに直接経費を受け入れて実施するもので、国立学校においては直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費（校費）の配分を要しない場合
- C：民間機関等から研究者の受入れのみを行い、研究の内容、性格から直接経費の措置を要しない場合

*年度別実施件数（過去5年）

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
18件	27件	31件	27件	30件

平成7年度日本学術振興会事業内定者の決定

○ 日米科学協力事業共同研究

部 局	職	氏 名	米国側研究代表者所属・職・氏名	研 究 課 題 名	研 究 期 間
経済学部	教 授	菊 田 健 作	Clemson 大学・教授・William H. Ruckle	重み付けられたグラフ上の探索ゲームとその応用に関する共同研究	7. 4. 15 } 9. 3. 31

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	7. 1. 1	内 山 実		教 授（理学部）
昇 任	7. 1. 1	若 杉 達 也	助 手（名古屋大学遺伝子実験施設）	講 師（理学部）
	〃	飼 牛 俊一郎	大阪大学学生部厚生課長	学生部次長
転 任	6. 12. 15	木 川 栄 一	主任研究官 （工業技術院地質調査所海洋地質部海洋物理探査課）	助教授（教育学部）
	7. 1. 1	松 田 信 和	文部事務官（人文学部・理学部）	文部事務官（金沢大学工学部）
配 置 換	7. 1. 1	橋 口 博 芳	学生部次長	熊本大学学生部次長
退 職	6. 12. 25	林 敏 和	事務補佐員（附属図書館）	平成6年12月24日限り退職した
	〃	青 山 拓 也	〃（ 〃 ）	〃
	〃	松 田 充 子	〃（ 〃 ）	〃
	〃	大久保 英	〃（ 〃 ）	〃
	〃	松 岡 弘 二	〃（ 〃 ）	〃
	〃	大 岩 満美子	〃（ 〃 ）	〃
	6. 12. 29	藤 井 友 美	事務補佐員（教育学部）	平成6年12月28日限り退職した
辞 職	6. 11. 30	田 上 智 子	事務補佐員（教育学部）	辞職を承認する

学 内 諸 報

学長主催による外国人留学生等と教職員との懇談会を開催

— 郷土芸能の披露やお国自慢で大いに盛り上がる —

「学長主催による外国人留学生等との懇談会」が、去る12月13日(火)に市内のパレ・ブラン高志会館で開催されました。

懇談会では、本学に在籍する中国、マレーシアなど14カ国の外国人留学生及び外国人研究者合わせて約150人、小黒学長をはじめ浜谷学生部長、矢部事務局長、各部署長、国際交流委員会委員、指導教官、留学生担当職員など教職員約80人が参加し、和やかな交流が行われました。

はじめに、小黒学長から外国人留学生に対する激励のあった後、本学教職員による富山県の民謡「風の盆一越中おわら節」の紹介や踊りの披露、本学邦楽部学生から日本の伝統楽器「琴」による「六段の調べ」の演奏に参加者は熱心に耳を傾け、盛んに拍手を送っていました。

続いて、マレーシア留学生による伝統スポーツ「セーパグラガ」、中国留学生による「太極拳」などのお国自慢や留学生有志による歌が披露され、懇談ムードをさらに盛り上げました。

最後に、教職員と留学生が「北国の春」を合唱し、浜谷学生部長の閉会のあいさつで、和気あいあいのうちに懇談会が締めくくられましたが、外国人留学生らは日本の伝統文化に触れたり、教職員と打ち解けて、より一層の親睦と相互理解を深めることができ、留学生交流推進につながる有意義な懇談会となりました。



▲ 「北国の春」を合唱する学長と教職員及び留学生

平成6年度『第8回経営者・研究者交流会』を開催

「多様化への模索」

— 地方から世界へ —

富山大学地域共同研究センターと富山技術開発財団が主催、富山県内各高等教育機関・各工業会共催の第8回経営者・研究者交流会が12月14日(木)本学工学部を会場として開催されました。

本交流会は、富山県内の高等教育機関、公設研究機関の研究者及び企業の経営者・研究者が一堂に会し、お互いの研究チームの紹介、情報交換等を行うことにより共同研究の「芽」の発掘の機会を得ることにより、産学官共同研究の推進を図ることを目的としたものであり、昭和62年度に富山大学地域共同研究センターが設置されて以来毎年開催されており、富山県における産学官交流の主要な事業となっています。今年度は、産学官合わせて220人の参加者により午後1時30分から大講義室で始まり、株式会社社村田製作所木島武士取締役事業所長から

「企業の国際化とその課題」—ASEAN諸国における日系企業の生産シフトの実態を考える—と題した基調講



▲ 交流会で地域共同研究センター長のあいさつ

演があり、引続き「電子デバイス・情報処理」、「メカトロ・加工技術」「新素材」及び「バイオサイエンス」の4分科会に分かれ産学官それぞれの研究紹介や熱心な討議が行われました。

現在、景気回復の兆しがあるとは言え、厳しい経済状

況を踏まえ、より一層の連携協力が必要であるとの声が多く、所期の目的を十分に達成する交流会となりました。

また、分科会終了後、工学部大会議室において懇親会が開催され、なごやかに情報交換が行われました。

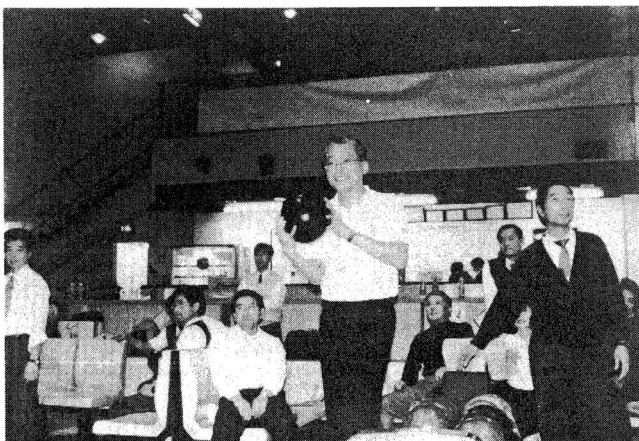
海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外 国 出 張	教育学部	教 授	山極 隆	ベ ル ギ ー	日・EU人材セミナーに出席	6. 12. 2 } 6. 12. 8
	工 学 部	〃	竹越 栄俊	イ ン ド ネ シ ア	流体・熱エネルギー変換国際会議 (FTEC '94) に出席, 研究発表	6. 12. 11 } 6. 12. 16
	〃	助教授	平澤 良男	イ ン ド ネ シ ア	〃	〃
	経済学部	助教授	太田 雅晴	イ ン ド ネ シ ア	'94年度環太平洋生産会議に出席, 他	6. 12. 17 } 6. 12. 29
海 外 研 修	教育学部	教 授	山西 潤一	フ ラ ン ス	「人間科学における情報化」研究集会参加及び研究資料収集	6. 12. 8 } 6. 12. 17
	〃	助教授	向後 千春	フ ラ ン ス	〃	〃
	〃	教 授	山地 哲司	ハ ワ イ (アメリカ合衆国)	ホノルル・マラソン走後の疲労に関する研究	6. 12. 10 } 6. 12. 15
	工 学 部	助教授	高瀬 均	カ ナ ダ	液中微粒子の動的挙動に関する研究	6. 12. 11 } 6. 12. 23
	理 学 部	助教授	池田 榮雄	香 港 (連 合 王 国)	国際シンポジウム「Method and Applications of Analysis」に出席, 講演	6. 12. 14 } 6. 12. 21
	人文学部	助教授	A.M. ムラジアン	アメリカ合衆国	「日米関係論」教育方法の研究	6. 12. 17 } 7. 1. 9
	〃	教 授	藤本 幸夫	大 韓 民 国	朝鮮古書の調査及び研究	6. 12. 28 } 6. 12. 31

学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

〈ボウリング大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会ボウリング班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成6年度学内ボウリング大会が、去る12月7日(木)富山ゴールデンボールで開催され、17チームが参加し熱戦が繰りひろげられ



ました。

なお、成績は次のとおりです。

(団 体)

優 勝	黄門ちゃま(学生部)チーム	1,239点
準決勝	がんばれ工学部チーム	1,200点
3 位	人文・理学部Aチーム	1,153点

(男子個人)

1 位	大 平 嘉 彦(学生課)	383点
2 位	能 登 功(厚生課)	357点
3 位	土 肥 隆 三(企画室)	353点

(女子個人)

1 位	長 崎 宏 美(庶務課)	333点
2 位	田 子 夏 恵(工学部)	323点
3 位	高 尾 テルノ(保健管理センター)	293点

(ハイゲーム賞)

高 村 浩 之(工学部)	203点
--------------	------

職 員 消 息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	外国人教師	ライヒルバルバラ ロ ジ ー ナ
理 学 部	教 授	川 崎 一 朗
理 学 部	助 教 授	阿 部 幸 隆
工 学 部	文部事務官	若 林 真由美

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
教 育 学 部	助 教 授	木 川 栄 一

〈改 姓〉

部 局 名	官 職	氏 名	旧 姓
工 学 部	文部事務官	若 林 真由美	川 上

計

報

富山大学名誉教授 黒坂富治氏逝去



本学名誉教授黒坂富治氏が平成6年12月19日に逝去されました。享年83歳。

同氏は、昭和6年3月富山県師範学校本科第一部を卒業後、同年同月富山県下新川郡大家庄尋常高等小学校訓導に就任され、同年8月同郡泊尋常高等小学校訓導、同7年4月同郡泊実業補習学校助教諭を兼任し、同8年4月東京音楽学校甲種師範科に入学、同11年3月同校を卒業後、富山県上新川郡堀川尋常高等小学校訓導となるとともに、富山県女子師範学校訓導、富山県女子師範学校教諭兼訓導、富山県立富山高等女学校教諭等を兼任され、同18年4月富山師範学校助教授に就任、同24年5月同校が富山大学に包括されたことに伴い、同年6月兼ねて富山大学助教授（教育学部勤務、文学部勤務）に補せられ、同25年4月富山大学教育学部助教授に就任、富山大学富山師範学校教授を兼職、同41年3月富山大学教育学部教授に昇任となり、同52年4月1日限り停年により退職された後、引き続き、同61年3月まで新潟青陵女子短期大学教授に就任されました。

この間、永年にわたり、終始熱意と温情をもって生徒並びに学生の教育と指導にあたり、特に担当の音楽教育の面から、主として作曲の専門領域での適切な指導により有能な数多くの人材の育成に尽力されました。

学内においては、昭和44年3月から同47年3月までの3年間にわたり、富山大学教育学部附属中学校長を併任され、校の体育館及び特殊学級校舎の施設整備充実に力を尽くされました。

研究面においては、昭和11年以来、越中万葉歌の作曲に取り組み、万葉歌調の啓蒙と普及生活化に努める

かたわら、富山県内の古楽・民謡の研究発掘と保存普及に努められ、「富山県の民謡（昭和54年8月北日本新聞社刊）」を刊行し、その録音テープは富山県立図書館に所管保存され、研究普及に活用されているばかりでなく、日本図書館協会の指定図書となって広く教育界に使用されています。

また、同氏は昭和40年9月から4ヶ月間、文部省派遣沖縄教育指導員に任命され、その間、沖縄の古琉歌、短歌、小歌、古民謡に着目し、日本歌謡学会で論文等を研究発表されたほか、古琉歌を収載して「沖縄のうた（北部篇）」を譜本にされたほか、良寛の遺詠（長歌、施頭歌、短歌）を多数作曲され、学校教育、社会教育を通して、良寛の芸術と人間性を広く一般に周知させることに貢献されました。

さらに、同氏は、県内の小学校、中学校、高等学校及び大学の音楽担当教員の研修と資質向上を図るため、富山県音楽教育学会を創立し、初代会長としてこれに就任され、また、全国音楽教育研究会の常務理事となり、研究大会における助言講師としての活躍や、同研究会の富山県支部長、日本教育音楽協会の富山県支部長などの要職につき、音楽研究家としての同氏の専門分野における社会的活動にも尽力されました。また、昭和22年6月、富山放送合唱団を創立し、初代団長並びに常任指揮者として定期演奏会を行うかたわら、しばしばNHK富山放送局から放送を行うとともに、同放送局主催のコンクール等の審査委員長を担当されたほか、富山県古民謡の解説を行い、地方放送文化の発展にも尽くされました。

加えて、学校教育、特に教員養成に尽瘁するかたわら、音楽教育、放送文化及び芸術文化の伸展に寄与され、また、民謡の育成活動にも挺身されたこと等により、昭和64年11月富山県教育委員長から富山県芸術祭記念表彰を、同54年11月富山県知事より富山県文化功労者表彰を、同時に北日本新聞社長より第21回北日本新聞文化賞をそれぞれ受賞されました。

これらの功績により、昭和52年4月富山大学名誉教授の称号を授与され、また、同59年4月には勲三等旭日中綬章を授与されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 12月1日 保健管理センター運営委員会（持回り）
- 2日 第7回教養教育委員会企画専門委員会
第21回北陸地区国立学校施設担当者連絡協議会（黒田講堂）
第5回入学試験委員会
- 5日 事務電算化委員会
学生部キャンパスプラン検討会
- 6～7日 厚生補導研究会（字奈月黒部荘）
- 8日 第6回教養教育委員会実施専門委員会
推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜合格者発表
- 12～16日 人文学部推薦入学願書受付
- 13日 第9回部課長会議
第3回教養教育経費部局負担検討ワーキンググループ会議
学長主催による留学生等との懇談会（高志会館）
- 14～15日 人事院実地調査
- 15日 第4回教養教育委員会
第2回大学入試センター試験担当者連絡協議会（昭和女子大学）
留学生指導相談室運営委員会
- 19日 情報処理センター運営計画・研究教育合同小委員会
- 20日 第4回教養教育経費部局負担検討ワーキンググループ会議
大蔵予算原案内示
学務関係職員打合せ会
- 21日 第3回公開講座委員会
- 22日 第8回教養教育委員会企画専門委員会
富山県大学長懇話会
- 25日 政府予算案決定
- 22～26日 公開講座「健康・スポーツ教室ー初級程度の硬式テニスー」
- 28日 仕事納め

人 文 学 部

- 12月1日 学部教務委員会

- 7日 教授会
教授会（人事）
大学院人文科学研究科委員会
- 14日 学部就職指導委員会
学部教務委員会と教務担当者との合同会議
学部予算委員会
- 15日 真率会役員会
- 20日 学部将来計画委員会
- 21日 教授会
教授会（人事）
- 22日 独立大学院（博士課程）に関する人文学部及び経済学部の合同委員会

教 育 学 部

- 12月5日 附属養護学校入学者選考
- 6日 “ 合格者発表
学部将来計画委員会
- 7日 学部教務学生生活合同委員会
学部学生生活委員会
教務委員会
教授会
附属幼稚園入園者発育検査（3歳児）
- 8日 “ （4歳児）
- 12日 学部予算委員会
附属幼稚園入園者第2次選考（抽選）
- 13日 教育実習運営協議会
- 14日 人事院実地調査
教育学研究科委員会小委員会
人事教授会
- 15日 学部教育実習委員会
- 19日 附属幼稚園第2学期終業式
- 21日 人事教授会
附属中学校第2学期終業式
- 22日 附属小学校及び附属養護学校第2学期終業式

経 済 学 部

- 12月1日 日本海経済研究所運営委員会
- 5日 平成7年度富山大学経済学部推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜選考委員会

- 5日 学部教務委員会
7日 学部就職指導委員会
人事教授会
教授会
14日 博士課程設置検討委員会
19日 学部教務委員会
大学院経済学研究科委員会小委員会
授業（第10週）終了
20日 助手室業務運営委員会（持ち回り）
日本海経済研究所運営委員会
学部入学方法検討委員会
21日 学部学生生活委員会
人事教授会
大学院経済学研究科委員会
教授会
22日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会

理 学 部

- 12月7日 教授会
大学院理学研究科委員会
人事教授会
学科長会議
14日 学科長会議
大学院設置構想推進委員会
学部自己点検評価委員会
22日 学部学生生活委員会
学部教務委員会
27日 学部動物実験委員会（持ち回り）

工 学 部

- 12月1日 外国人留学生委員会
博士課程設置記念式典実行委員会
学部図書委員会
2日 博士後期課程主任会議
5日 学部教務委員会
7日 教授会
研究科委員会
専任教授会
博士後期課程委員会
8日 専攻長・学科長会議
16日 工業系高等学校長との懇談会
19日 「工業高校卒業生を対象としたカリキュラム

編成及び教育方法のための調査研究」プロジェクト担当者（新潟大学，長崎大学，富山大学の三大学工学部合同）会議
教授会

- 21日 学部運営委員会
選挙要領検討委員会
26日 若手教官との懇談会
学部教務委員会

附 属 図 書 館

- 12月2日 第2回自己点検評価資料整備等専門委員会
12日 第2回自己点検評価情報システム専門委員会
22日 第2回附属図書館増築に関する検討委員会

地域共同研究センター

- 12月2日 地域共同研究センター講演会
5日 第5回大学院生教育講座
14日 第8回経営者・研究者交流会

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3 1 9 0
印 刷 所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電 話 (2 4) 1 7 5 5 (代)